

株式会社商工組合中央金庫2026年3月期 決算概要

2026年5月18日

 定時株主総会開催予定日 2026年6月23日
 配当支払開始予定日 2026年6月25日
 URL <https://www.shokochukin.co.jp/>

(注) 百万円未満、小数点表示単位未満は切捨て

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績 (％表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
2026年3月期	247,422	(27.3)	40,409	(22.3)	32,619	(26.6)	22	38
2025年3月期	194,286	(16.3)	33,018	(47.6)	25,750	(64.1)	11	83

(注1) 包括利益 2026年3月期 45,329百万円(867.7%) 2025年3月期 4,684百万円(△88.1%)

(注2) 一株当たり当期純利益の計算における株式数は、普通株式の期中平均発行済株式数から期中平均自己株式数を控除した値としております。

	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	％	％	％
2026年3月期	3.3	0.3	16.3
2025年3月期	2.4	0.2	16.9

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	1株当たり純資産
	百万円	百万円	円 銭
2026年3月期	12,509,799	937,585	315 03
2025年3月期	12,265,465	1,038,410	231 78

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	配当金総額	配当性向	純資産配当率
	円 銭	百万円	％	％
2026年3月期	5 00	6,403	22.3	1.6
2025年3月期	3 00	6,527	25.4	1.3

(注) 2026年3月期の期末配当金を1株当たり5円とする剰余金処分に係る議案を、次の定時株主総会に提出する予定であります。株式会社商工組合中央金庫法第49条に基づき、剰余金の配当その他の剰余金の処分の決議は、主務大臣の認可によりその効力を生じます。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 有

新規 1社 (社名 株式会社商工中金MIRAIハーベスト) 除外 - 社 (社名 -)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	2,186,531,448株
	2025年3月期	2,186,531,448株
② 期末自己株式数	2026年3月期	905,811,646株
	2025年3月期	10,797,142株

(参考) (個別業績の概要)

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(単位: 億円 億円未満、小数点表示単位未満は切捨て)

(1) 個別経営成績

	2025/3期	2026/3期	前期比
業務粗利益	1,367	1,405	37
資金利益	1,209	1,297	87
役務取引等利益	126	144	17
特定取引利益	79	70	△8
その他業務利益	△47	△106	△58
コア業務粗利益	1,394	1,482	88
経費(△)	799	847	48
実質業務純益	568	557	△10
コア業務純益(一般貸引繰入前)	595	635	39
一般貸倒引当金繰入額(△) <a>	31	56	24
臨時損益	△208	△104	104
不良債権処理額(△) 	230	284	54
(与信費用<a>+ (△は戻入益))	262	341	78
経常利益	328	397	68
特別損益	7	22	14
法人税、住民税及び事業税(△)	105	72	△32
法人税等調整額(△)	△26	25	51
当期純利益	256	321	65

一株当たり当期純利益	11.78円	22.05円	10.27円
------------	--------	--------	--------

(注1) コア業務粗利益は、業務粗利益から国債等債券損益を控除しております。

(注2) 実質業務純益は、業務粗利益から経費を控除しております。

(注3) コア業務純益(一般貸引繰入前)は、実質業務純益から国債等債券損益を控除しております。

コア業務純益に含まれる投資信託解約損益は2025/3期は1億円、2026/3期は4億円となっております。

(注4) 一株当たり当期純利益の計算における株式数は、普通株式の期中平均発行済株式数から期中平均自己株式数を控除した値としております。

(%表示は対前期増減率)

	経常収益	
	億円	%
2026年3月期	2,234	(30.9)
2025年3月期	1,707	(17.6)

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	1株当たり純資産
	億円	億円	円 銭
2026年3月期	124,104	9,055	292 98
2025年3月期	121,874	10,218	225 91

※ 決算概要は、公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

1. 経営成績等の概況

当金庫は、外部環境・内部環境が大きく変化するなか、「倫理憲章・コンプライアンス行動基準」によるコンプライアンスの遵守をすべての土台とし、行動の原点である「CHUKIN Way」をもとに、当金庫が果たすべき使命である「MISSION」を遂行し、「PURPOSE」の実現を目指してまいります。

当金庫は、2025年6月に政府保有株式の全部処分が完了したことで民営化を実現し、大きな転換点を迎えました。変化する外部環境や中小企業への影響、当金庫を取り巻く状況を踏まえ、新たに長期的に目指す姿と、その具体的な行動プランとして、「長期戦略・変革プラン」を策定し、2026年3月6日に公表いたしました。

長期戦略・変革プランは、「集めて・つなげて・価値を創る」をキーワードとして、当金庫のPURPOSEである「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくなる。」の実現に向け、中小企業に関わる様々な関係者が集まり・つながり・価値が生まれるオープンな社会「中小企業経済圏」の確立・活性化を目指し、当金庫が「プロデューサー」として主役である中小企業を支え、「中小企業経済圏」の参加者の価値向上に貢献することを目的としております。

外部情報と経営資源が不足する日本の中小企業のために、「中小企業経済圏」を掲げ、そこに「集まる」多様な参加者を「つなげて」、お客さま本位で新たな価値創造に取り組んでまいります。

(1) 経営成績の概況

経常収益は、資金運用収益が増加したこと等から、前連結会計年度比531億円増加し、2,474億円となりました。経常費用は、資金調達費用が増加したこと等から、前連結会計年度比457億円増加し、2,070億円となりました。

以上により、経常利益は前連結会計年度比73億円増加し、404億円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比68億円増加し、326億円となりました。

(2) 財政状態の概況

当連結会計期間における主要勘定の動きは、次のとおりとなりました。

(貸出金)

貸出金は、金利の上昇等先行きの不透明感が強まる中、事業者への円滑な資金供給を行った結果、期末残高は前連結会計年度末比989億円増加し、9兆7,194億円となりました。

(有価証券)

有価証券は、市場環境を注視しつつ分散投資を行った結果、期末残高は前連結会計年度末比384億円増加し、1兆3,572億円となりました。

(預金・債券)

預金は、流動性預金、定期預金ともに増加した結果、期末残高は前連結会計年度末比5,703億円増加し、6兆7,870億円となりました。また、債券の期末残高は前連結会計年度末比812億円減少し、3兆1,283億円となりました。

(総資産)

これらの結果、総資産の期末残高は、前連結会計年度末比2,443億円増加し、12兆5,097億円となりました。